



令和 8 年 8 月 8 日
第 43 号

発行所
青森県立青森高等学校同窓会
事務局
青森県立青森高等学校渉外部内
〒030-0945
青森市桜川 8-1-2
TEL (017) 742-2411
FAX (017) 742-6074



「恩送り」について

同窓会会長 沼田 廣

日頃より会員の皆様には同窓会活動に対するご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年八月九日(土)に、青高第五十一回生(川村和司代表幹事、佐藤広野実行委員長)が当番幹事で懇親会を開催したところ、ご来賓も含め五百名を超える参加者があり大盛況でした。五十一回生の皆さんには改めて感謝申し上げます。

今年は、八月八日(土)にホテル青森で五十二回生(石戸谷浩弥代表幹事、中島翔平実行委員長)が当番幹事となつて「無限の途中で」をテーマに懇親会の準備を進めています。昨年同様にも多くの参加者を得て旧友、恩師と再会を楽しんでいただければ幸いです。

さて、昨年、青高四回生の故吉川キヌさんより五億三千四百万円もの遺産が一般財団法人青高後援会に寄贈されました。公正証書にしたためた遺言が残されており、内容は在校生への奨学金に充てて欲しいというものでした。後援会では、新規奨学金検討委員会(委員長 沼田廣)を立ち上げ、議論を重ねた結果、国債と格付けの高い上場企業の社債で運用し、その利息を給付型奨学金にするという持続可能なスキームを作り上げました。今年

度から二十人の奨学生を募り毎月二万五千円、年間で三十万円の返済無用の奨学金を支給することになっています。

ところで、皆さんは「恩送り」という言葉を聞いたことがありますか？恩を受けたら、その人に直接返すのではなく、誰か別の人に与えるということです。例えば、親からの恩、先生からの恩は、自分の子供や別の誰か、或いは、地域や社会に返していくということです。

吉川キヌさんのご寄付は、正にこの「恩送り」だと思いました。これだけの財産を築くまで想像を絶するご苦労とご努力をされたことでしょう。人生の総決算としてほとんどの財産を在校生への奨学金に提供されたその思いに胸が熱くなります。

吉川さんからの奨学金を得られた後輩たちもいつか「恩送り」をするようになるかもしれません。その温かい思いは次々と繋がります。地域、社会を良くしていくことになると思っています。

私たちも、それぞれのできる範囲でこの「恩送り」を実践していきたいものです。結びに、皆さんの更なるご活躍とご健勝をお祈りし挨拶いたします。



「未来への道標」 SSH・国スポへの挑戦

校長 中川 伸 吾

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より母校の教育活動へ賜っております。多様なご支援に、心より感謝申し上げます。

この四月に青森高等学校の第二十八代校長に就任いたしました。志高い生徒たち、そして母校への熱い思いを持った多くの同窓会の皆様と共に歩み出せることを、心より光榮に存じております。また、同窓生の皆様が国内外の多方面で活躍されていることは、在校生にとって大きな誇りであり、未来への道標となっております。

さて、本校の教育活動は今、大きな躍動の時を迎えております。文部科学省より指定を受けているスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業は、本年度、第二期の四年目という集大成へと向かう重要な時期にあります。「文理融合の深い学び」を掲げた第二期では、単なる知識の習得に留まらず、科学的思考を基盤とした課題解決能力の育成に注力してまいりました。生徒たちはゼミ活動や国内外でのフィールドワークを通じ、地域課題から地球規模の諸問題まで、自ら問いを立て、探究を深めております。この「自律自啓」の精神が具現化された学びは、先行きの不透明な現代社会において、新たな価値を創造する確かな力になると確信しております。

また、本年は本県において、昭和五十二年の「あすなろ国体」以来四十九年ぶりとなる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会、「青の煌めき」あおり国スポ・障スポ」が開催される記念すべき年です。本校の生徒たちも、選手としての出場はもちろん、運営を支えるボランティアや応援活動など、様々な形でこの大きな祭典に関わっていくこととなります。スポーツを通じて培われる情熱や規律、そして他者を思いやる心は、将来の大きな糧となります。この記念すべき大会を契機に、生徒たちが郷土への愛着を深め、仲間と共に切磋琢磨する喜びを肌で感じる機会を大切にしていきたいと思います。

と考えることができます。地域全体がスポーツの熱狂に包まれるこの機会は、生徒たちにとって社会と繋がり、地域に貢献する喜びを実感する貴重な財産となるでしょう。

校歌に歌われる「無限の象徴」。この言葉が示す通り、本校の可能性に限りはありません。伝統を守りつつも、時代に即した教育のアップデートを止めることなく、生徒一人ひとりが自己研鑽を続けられる環境づくりに努めてまいります。

結びに、同窓生の皆様の更なるご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新副会長に奥田忠雄氏

令和三年から副会長を務められた原田啓一氏(青高二十七回生)のご勇退に伴い、七年八月の総会で、奥田忠雄氏(青高三十四回生)が新しく副会長に就任した。三十四回生理事も兼任する。



統一青高34回生 (昭和59年3月卒業)

地域の憧れであり、誇りでもある青高

同窓会副会長 奥田 忠雄

昨年八月に、青森高等学校同窓会の副会長を拝命いたしました。沼田会長のもと、会員相互の親睦と母校の発展に寄与すべく微力を尽くす所存ですので、同窓生の皆様には、引き続きの御指導、御協力をよろしくお願いいたします。去る三月一日、青高の卒業証書

授与式に出席する機会に恵まれた。自分の在学当時と比べると、卒業生の数は半分程度であり、多量寂しさは覚えたものの、卒業生代表による「別れのことば」には胸が熱くなった。ユーモアを交えた高校生活の思い出や、恩師や親御さんへの心の

同期・同窓の縁を結び直して

出崎 和夫

三十五回生が幹事を務めた同窓会から十七年が経過した。その数年前、代表幹事を務めることになったのだが、仕事の負担の大きい時期に、同期を集めつつ、同窓会懇親会の準備を進めたことは結構骨が折れたものの、今では人生の財産になったかなと思っている。同窓会幹事を務めたことで、元々親しい同期とはもちろん、幹事前後から付き合いが始まった同

期もいて、まさにご縁の結び直しになったし、諸先輩とも様々な場合で知遇を得る機会もいただけた。どんな仕事も様々な方面と関わりの中で取り組むものだが、幸運にも同期、そして同窓の方々が組織内外に結構おられ、そのご縁にかなり助けられてきた。この数年関わっている大イベントの準備でも、そのような経験が少なからずあり、皆様には、この場を借りて改めてお礼申し上げたい。同期から同様の声を耳にすることがあり、同窓会幹事がそうした契機であったなら、取りまとめを仰せつかった身としては望外の喜びである。



最後に余談ながら、その大イベント、あすなろ国体以来四十九年ぶりの国民スポーツ大会、本県初開催の全国障害者スポーツ大会には、同窓の皆様も是非観戦やボランティアなどでご参加いただければ幸いです。
公式アプリは下QRコードから



こもった感謝。更には、激動する現代社会において、何が求められ、どう応えていくべきかといった決意等が、自らの言葉で堂々と述べられた。その立派な姿に心から拍手を送らずにはいられなかった。日頃、仕事を通じて様々な方にお会いするが、県内外の幅広い分野で、実に多くの同窓生が活躍されていることを肌で感じる。この日巣立った卒業生の皆さんも、諸先輩に続き、それぞれの道を力強く切り拓き、将来は多方面で活躍されることと思う。

帰る道すがら、改めて深く思った。青高は、地域の人々にとっての憧れであり、変わらぬ誇りなのだ。そして、時代がどのように移ろい変化しようとも、青高にはそうあり続けてほしい。我々同窓生も、同窓会の絆やネットワークを大切にしながら、この輝かしい伝統をしっかりと未来へ紡いでいきたい。

「南半球の大地から、青森の空を想う」

小山 浩平

統一青高45回生 (平成7年3月卒業)

五十歳を迎えた今、私は栽培醸造チームを率いニュージーランドの畑に立っている。朝露に濡れたブドウの葉を確かめながら、はるか彼方の青森の空を想う。

大学を出て金融の仕事に就き、東京とロンドンで十一年を過ごした。充実した日々ではあったが、土地に根ざした手触り感のある仕事があったという気持ち、少しづつ大きくなっていった。そんな時に出会ったのがワインだった。一杯のグラスの中に、土地の個性と人の手仕事が生み出されている。ならば、自分の手でそれを作りたい。気づけば家族を巻き込んでニュージーランドへ渡っていた。正直に言えば、不安がなかったわけではない。

日本での学位は法学、現地大学のブドウ栽培・醸造学科に入り直した。土壌学、植物学、醸造化学、醸造機器操作——まったく新しい言語で世界を学ぶような日々。諦めずに続けられたのは、青森という土地が育んでくれた粘り強さのおかげだったかもしれない。卒業後は世界各地のワイナリーで修業を重ね、自分のワインスタイルを育ててきた。

私が暮らすワイラパは、南緯四十度。青森とはほぼ同じ緯度だが、南半球ゆえに季節は逆になる。雪はめったに降らないがそれでも似たような冷涼な空気と、四季の移ろいがある。青森で育った体が、



この土地をどこか懐かしく感じるのは、そのせいかもしれない。今年ついに、長年携わってきた「JURA(アーラー)」——古英語で「大地より」を意味する——に新ワイナリーとレストランが完成した。NZの大地から生まれたワインが、日本の食卓にも届くようになった。NZに移住して十四年、思えばずいぶん遠いところまで来たものだと感じる。

後輩のみなさんへ。偉そうなこととは言えないが、ひとつ感じていることがある——あらゆる二次情報が瞬時に手に入られる時代だが、現実の世界は思ったより広く、変化に富み、そして案外やさしい。自分の目で見て、手で触れて得た経験は、あとから振り返ったときに必ず自分の軸になる。

南半球の大地に立ちながらも、心のどこかにはいつも青森の空がある。それぞれの場所でも同窓生の皆さんと、またどこかで交わる日を楽しみにしている。

2028年版
会員名簿発刊
決 定

本会は、現行の会員名簿(2013年版)を発行・データ管理していた(株)ブレインが名簿事業を終了することを受けて、名簿作成委員会(若井隆志委員長=21回生)を立ち上げ、(株)サルト(本社:姫路市)と契約を結んだ。
2028年の発刊を目指し、今後、住所確認はがきなどによる調査が始まる。不信任をもたれぬよう通知文は会長名、返信先は青森高校の住所になる。若井委員長は「有用な名簿となるようご協力いただきたい」と話している。

同窓生による寄付			
(一財)青森高校後援会令和7年度受付分〔著書・書籍をのぞく〕			
区分	団 体 ・ 個 人	金 額	備 考
一般・寄付金	甲田クラブ	100,000円	硬式野球部活動資金
	三四郎クラブ	80,000円	硬式野球部活動資金
	青森高校バレー部OB会	40,000円	バレーボール部活動資金
	青森高校バスケットボール部OB会	150,000円	バスケットボール部活動資金
	小岩哲男 (青高29回生)	100,000円	ハンドボール部活動資金
	(株)白水社・小山内園子 (青高38回生)	19,958円	訳書出版に際して
	神慶太 (青高29回生)	1,000,000円	大学進学のための給付奨学金

同窓会講演会

令和7年10月16日(木)

【演題】
「研究すること:宇宙から生命」

【講師】
九州大学
大学院理学研究院
地球惑星科学部門
教授
奈良岡 浩 氏
(青高29回生)



同期会短信 「無限の象徴」振って結束を

— 18回生 同窓会旗を贈呈へ—
藤 川 幸 治 (統合青高18回生)



令和8年6月29日、喜寿を祝う同期会を開き、仲間618人のうち53人が集った。18回生の総意として同窓会に寄贈することを計画していた「同窓会旗」ができあがり、お披露目を兼ねた。8月8日の総会・懇親会で贈呈するので、今後、会の結束の象徴として、各地区同窓会や同期会の集まりに、事務局から借り出して活用していただければと思う。

金澤時信氏 同窓会へ寄付

令和7年11月26日、青高2回生の金澤時信氏は、同窓会へ50万円を寄付した。社会科教諭として22年間(昭和42年～平成元年)本校で勤務した氏は、かねてから、青森高校の歴史的資料などを系統立てて保存管理する必要性を感じていた。
このたび、その整理や展示の一助になればと、沼田廣同窓会会長に、その思いを託された。先輩たちの様々な業績功績を折に触れ目にする機会があることは、在校生たちの励みになるだろうと話していた。



右から金澤時信氏、沼田廣会長、高橋英樹校長。令和7年11月26日

令和7年度青森高校同窓会庶務報告

令和7年6月1日～令和8年5月31日

年 月 日	項 目	年 月 日	項 目	年 月 日	項 目
令和7年 6月5日(木)	会計監査会 第1回運営委員会	10月16日(木)	同窓会講演会 講師:九州大学大学院理学研究院 教授 奈良岡 浩 氏 (29回生)	12月24日(水)	第3回運営委員会
6月20日(金)	第1回役員会 第1回合同実行委員会	10月18日(土)	弘前青高会総会・懇親会	令和8年 2月27日(金)	同窓会入会式(第76回生)
8月9日(土)	会報「青高同窓会」42号発行 同窓会総会 同窓会懇親会	11月1日(土)	八戸青高同窓会総会・懇親会	3月1日(日)	卒業証書授与式
		11月13日(木)	第2回運営委員会 第2回合同実行委員会	3月13日(金)	第4回運営委員会
		11月15日(土)	青高むつ下北同窓会総会・懇親会	4月20日(月)	第2回役員会
				5月10日(日)	東京青高同窓会第48回総会・懇親会
				5月22日(金)	会員名簿作成委員会 契約締結式

あさぐ会

第6回報告

「青森開港400年を記念して 青森の旧町名を訪ね歩く」6月29日少し暑いくらいの快晴のもと、15名であさいできました。善知鳥神社をスタートして沼田同窓会会長にガイドいただきながら約3時間の道のり、いつもは素通りしていた旧町名に思いを馳せる時間になりました。

その後は広州さんに場所を移し、ビールで乾杯。参加された皆さんから最高の笑顔がこぼれる時間です。皆様一様に「楽しかった」という感想をいただきました。楽しそうだなと思った方はお気軽に参加してみてください。お待ちしております。

【連絡先】唐牛 貴文(45回生代表幹事) 090-4916-1620



青森高校ゴルフ同好会「無限会」

■ 本会について

本会は今年で50周年を迎えた同窓生で構成するゴルフ愛好会です。活動概要は下記のとおりですが、兎にも角にも楽しいゴルフを目指し、80歳を超えるベテランメンバーも若い初心者メンバーも一緒になって、同窓生同士の旧交を深め、好プレーに感心し、珍プレーに笑って年5回のコンペを楽しんでいます。

5月から毎月1回行われるコンペは、各回とも10組(40名)を超える盛況となっています。また、元東京青高同窓会会長の清藤良則様もわざわざ東京から参加されたこともあります。

本会は、卒業生だけでなく現職・元職を問わず青森高校教職員の方々も会員になれますので、教職員の皆様も是非ご参加ください。



第1回コンペの参加者

新入会員の方は当該年度の年会費無料の特典が与えられているため、たくさんの方が入会されプレーを楽しんでいます。

■ 活動の概要

- 1 会 長 19回卒業 沼田 廣
- 2 メンバーの条件
本校同窓生及び本校教職員(現職・元職)であること
4月募集・随時入会可能
他校生でもゲストとしてオブザーバー参加可能
- 3 活動場所 青森カントリークラブ
- 4 活動回数 5・6・7・9・10月(年5回)
10月の例会後は表彰式・懇親会も開催(参加費一部補助)
毎回10組前後(40人前後)が参加
8月に行われる3校(青高・八高・弘高)対抗戦への積極的参加。例年3校合計約100人程度のゴルフ愛好家が集まります。表彰式は賞品も数多く大変盛り上がりします。
- 5 競技方法 ダブルペリア方式によるストロークプレー
1～5位・BG賞・BB賞・飛び賞・参加賞
- 6 現在の会員数 53名(5月現在)
- 7 年 会 費 3,000円(事務費)
- 8 例会参加費 2,000円
全て賞品(日専連ギフトカード)として還元
- 9 事務局 19回卒業 池田 好明
青森市筒井字八ツ橋156 Tel/Fax 017-738-6197

市 民 古 代 史 の 会



青森高校卒業生を中心に市民による『古事記』講読会を毎月1回行っており、2026年6月例会で124回となりました。

高校時代の日本史の授業では、事柄年号を覚えるのに必死で、原文にあたるということはほとんどなかったと思います。原文を読み解いていくと、その面白さにどんどん吸い込まれていきます。

歴史を学ぶということは現代を知り、これからの生き方を考えるヒントにもなります。現在会員数28名で毎回20名近い参加者があり、予習、復習、宿題もありません。お気軽に参加ください。会では今年5月に有志10人3泊4日で大和古代史の旅をしてきました。



- 会 場：リンクステーションホール青森 3F小会議室
- 講 師：藤本 和夫(青高19回生)
- 例会日時：原則として月1回土曜日 14:00～16:00
9/26(土)、10/24(土)、11/28(土)、12/19(土)
- テキスト：講師が配付するプリント。
岩波古典文学大系『古事記・祝詞』『日本書紀』
- 年 会 費：3,000円
- 入 会 金：1,000円
- 事務局：〒030-0801
青森市新町2-8-19 TEL 017-722-4515
藤本 和夫(青高19回生) 携帯 080-5220-8114

多くの方のご参加をお待ちしています。

俳句同好会 「三四郎句会」

アラフィフ中心のメンバーが市内の飲食店に集い、年に数回、のびのびと句会をしています。区切りの年齢だからか、新しい道に進み挑戦する仲間も多くなりました。「五十にして天命を知る」と言いますが、句の実力は？

さて、今回は大雪が落ちて着いてから行った冬句会の作品から、一人三句ずつご紹介します。

(括弧内は俳号)

東京は五センチの雪郷想ふ
初大師飴の誘ひはとんとこと
初富士や湘南の波響き居り

(花らつきよう)

雪吊の支柱傾く日追うごと
雪壁の向こう見えぬと首のぼし
青空に雪庇つく腕熱くなり

(佐藤環子)

雪壁に白旗あげし背比べ
雪しんしん帽子纏うあおもり犬
丑三つ寝惚け眼に雪あかり

(楊子妃)

選挙カー脱輪せるや残雪に
投票所へスキーストック交互につき
納豆も欠品除雪されぬ道

(山口刃心)

■事務局 山口忍 shinobuyamaguchi@hotmail.com



令和8年3月卒業生の
(76回生)

進路状況

進路指導主事

金子 勇太

進路概況について

現行の学習指導要領に基づく、共通テストになってから2年目となりました。今年の共通テストは全体的に難化傾向にあり、昨年の共通テストの平均点よりも低い結果となりました。以下の表が本校卒業生の進学実数ですが、国公立大学の合格者数は一昨年とほぼ同数でした。

進学実数		76回生
大学等	国公立大	142
	私立大他	49
専修・各種学校・他		4
文部科学省所管外学校		3
就職・公務員		0
受験待機(浪人)他		30
卒業者数		228

大学合格状況

昨年度も一般入試だけではなく、校内外での活動実績を利用して学校推薦型や総合型選抜を受験する生徒が多かったです。この傾向は今後も続くものと思われます。また、一昨年度に続き、東京大学の推薦入試に挑戦した生徒がいました。残念ながら不合格でしたが、この生徒は一般入試で合格しています。本校

はSSH指定校であり、探究学習にも力を入れていますので、今後も生徒の探究学習における研究成果を活用して、多様な大学受験方式に挑んでほしいと考えています。

国公立大学については一般入試も含めた入試全体としては、最難関である東京大学に現役3名、東北大学には、共通テストの難化の影響もあり、想定よりも少ない受験人数になってしまい、合格数は現役13名でした。特に理系が苦戦をしたのですが、薬学部に2名合格したのは、ここ数年にない快挙でした。

私立大学については受験数、合格数ともに一昨年に引き続き、増加傾向にあります。昨年度は、首都圏の私立大学の人気が高まり、例年よりもかなり厳しい受験状況だったにもかかわらず、生徒はよく健闘してくれました。

受験環境が変化する中で勇気をもって受験した生徒については良い結果が出ています。自律自啓の精神とともに、生徒の底力を見せる結果となりました。

医学科合格状況

昨年度は医学科志望者自体が少なかったことから合格者数が7名と一昨年より大きく減少しましたが、合格率自体は一昨年に引き続き健闘しました。本校では、医学科志望者に対して「Mプロジェクト」と称して各種医療体験行事への参加、様々な学習会、講演会、特別指導を行うことで、医療へ向かう資質の育

成に努めています。また、教員一丸となって医学科志望者に対する面接指導などでサポートしたことも大きく影響したと思われます。

医師の育成は本県の課題でもありますので、本校が青森県の医師不足を少しでも解消できるように、今後も指導に力を入れていきたいと思ひます。

【令和8年度入試 大学別合格者数(一部)】

大学名 (主な大学)		R8年度入試 ()内は現役
弘 前 大	65	(63)
岩 手 大	8	(8)
東 北 大	14	(13)
山 形 大	3	(3)
筑 波 大	1	(1)
埼 玉 大	7	(5)
東 京 大	3	(3)
東 京 学 芸 大	3	(3)
新 潟 大	5	(4)
早 稲 田 大	12	(11)
慶 応 大	4	(4)
上 智 大	1	(1)
明 治 大	15	(13)
東 京 理 大	6	(5)
立 教 大	2	(2)



部 活 動 の 記 録

令和 7 年度

【運動部】 ★全国大会代表 ☆東北大会代表

部 活 名	大 会 名／種 目	成 績	クラス・氏 名
陸上競技部	第51回青森県春季陸上競技選手権大会		
	ジュニアB男子110m J H	第1位	1－6 立成 功幸
	男子300m H	第3位	2－5 小野 竣也
	〃	第3位	1－6 立成 功幸
	第78回青森県高等学校総合体育大会陸上競技		
	男子110m H ☆	第2位	1－6 立成 功幸
	男子400m H ☆	第6位	2－5 小野 竣也
	女子800m ☆	第5位	2－1 澤田日桜乃
	女子1500m ☆	第4位	2－1 澤田日桜乃
	女子5000m W ☆	第2位	2－4 越野 桜日
	第80回東北高等学校陸上競技大会【青森市】		
	女子5000m W	第8位	2－4 越野 桜日
	第79回国民スポーツ大会陸上競技青森県選手選考会		
	男子少年B100m	第2位	1－6 立成 功幸
	男子少年共通110m H	第1位	1－6 立成 功幸
	女子800m	第2位	2－1 澤田日桜乃
	女子5000m W	第2位	2－4 越野 桜日
	第50回青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会		
	男子110m H ☆	第4位	1－5 菅原 豪
	男子400m H ☆	第4位	2－5 小野 竣也
	女子800m ☆	第1位	2－1 澤田日桜乃
	女子1500m ☆	第4位	2－1 澤田日桜乃
	女子5000m W ☆	第2位	2－4 越野 桜日
	第30回東北高等学校新人陸上競技選手権大会		
	女子800m	第3位	2－1 澤田日桜乃
	女子5000m W	第3位	2－4 越野 桜日
	2025年度第74回青森県秋季陸上競技選手権大会		
	女子800m	第2位	2－1 澤田日桜乃
	女子1500m	第3位	2－1 澤田日桜乃
	女子5000m W	第3位	2－4 越野 桜日
バスケットボール部	第78回青森県高等学校総合体育大会バスケットボール競技		
	女子	優秀選手賞	3－2 柳澤 香琳
弓 道 部	令和7年度春季県下高等学校弓道大会		
	男子団体	第1位	青 森 高 校
	令和7年度春季津軽地区高等学校弓道大会		
	男子団体	第1位	青 森 高 校
	女子団体	第1位	青 森 高 校
	第78回青森県高等学校総合体育大会弓道競技		
	女子団体	第3位	青 森 高 校
	女子個人 ☆	第4位	2－5 倉本 結羅
	第25回東日本高等学校弓道大会青森県最終予選会		
	女子団体	第2位	青 森 高 校
ハンドボール部	第75回青森県高等学校春季ハンドボール選手権大会		
	男子	第3位	青 森 高 校
	女子	第3位	青 森 高 校
	第78回青森県高等学校総合体育大会ハンドボール競技		
	女子	第3位	青 森 高 校
漕 艇 部	第79回国民スポーツ大会ハンドボール競技青森県選考会		
	女子	第3位	青 森 高 校
	第78回青森県高等学校総合体育大会ローイング競技		
	男子シングルスカル ★☆	第1位	3－1 林 怜生
	男子ダブルスカル ☆	第3位	青 森 高 校
	男子舵手付クォドルブル ★☆	第1位	青 森 高 校
	男子総合	第1位	青 森 高 校
	女子シングルスカル ☆	第2位	3－6 福澤 由菜
	女子ダブルスカル ☆	第2位	青 森 高 校
	女子舵手付クォドルブル ☆	第3位	青 森 高 校
	女子総合	第2位	青 森 高 校
	第78回青森県高等学校総合体育大会(1・2年生大会)		
	男子ダブルスカル	第2位	青 森 高 校
	男子舵手付クォドルブル	第3位	青 森 高 校
	女子舵手付クォドルブル	第2位	青 森 高 校
	令和7年度東北高等学校選手権大会ローイング競技【むつ市】		
	男子舵手付クォドルブル	第3位	青 森 高 校
	女子舵手付クォドルブル	第3位	青 森 高 校
	令和7年度青森県秋季ローイング選手権大会 兼 朝日杯争奪ローイング大会 兼 青森県高等学校ローイング新人選手権大会		
	男子ダブルスカル ☆	第2位	青 森 高 校 B
	〃	第3位	青 森 高 校 A
	男子舵手付クォドルブル ☆	第2位	青 森 高 校 A
	女子シングルスカル ☆	第2位	2－2 宍田 琴音
	女子ダブルスカル ☆	第2位	青 森 高 校
	女子舵手付クォドルブル	第3位	青 森 高 校 A
	女子舵手付クォドルブル(1年生大会)	第1位	青 森 高 校
	第40回東北高等学校選抜ローイング大会		
	男子舵手付クォドルブル ★	第3位	青 森 高 校
	女子ダブルスカル ★	第2位	青 森 高 校
	女子シングルスカル ★	第3位	2－2 穴田 琴音
水 泳 部	第2回青森県高等学校春季水泳競技大会		
	男子50m自由形	第1位	2－1 佐藤 風梢
	男子50m平泳ぎ	第1位	3－5 前原 悠吾
	〃	第2位	2－1 佐藤 風梢

部 活 名	大 会 名／種 目	成 績	クラス・氏 名
水 泳 部	男子100m平泳ぎ	第1位	3－5 前原 悠吾
	男子200m平泳ぎ	第1位	3－5 前原 悠吾
	男子200mメドレーリレー	第2位	青 森 高 校
	女子50m自由形	第3位	3－4 八木澤麻衣
	女子50mバタフライ	第1位	3－4 八木澤麻衣
	〃	第3位	1－5 山道心優菜
	女子100mバタフライ	第1位	3－4 八木澤麻衣
	第78回青森県高等学校総合体育大会水泳競技		
	男子50m自由形 ☆	第1位	2－1 佐藤 風梢
	〃 ☆	第7位	1－5 中野 陽登
	男子100m自由形 ☆	第8位	1－5 中野 陽登
	男子200m自由形 ☆	第5位	2－3 工藤ケンゾウ
	男子400m自由形 ☆	第7位	2－3 工藤ケンゾウ
	男子100m背泳ぎ ☆	第4位	3－1 高橋 悠介
	男子200m背泳ぎ ☆	第5位	3－1 高橋 悠介
	男子100m平泳ぎ ☆	第2位	3－5 前原 悠吾
	〃 ☆	第5位	2－1 佐藤 風梢
	男子200m平泳ぎ ☆	第2位	3－5 前原 悠吾
	男子4×100mフリーリレー ☆	第3位	青 森 高 校
	男子4×200mフリーリレー ☆	第3位	青 森 高 校
	男子4×100mメドレーリレー ☆	第3位	青 森 高 校
	男子総合 ☆	第3位	青 森 高 校
	女子50m自由形 ☆	第4位	3－4 八木澤麻衣
	女子100mバタフライ ☆	第1位	3－4 八木澤麻衣
	〃 ☆	第3位	1－5 山道心優菜
	〃 ☆	第5位	1－4 成田 恵
	女子200mバタフライ ☆	第3位	1－4 成田 恵
	女子200m個人メドレー ☆	第4位	1－5 山道心優菜
	女子総合 ☆	第4位	青 森 高 校
	第73回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会【青森市】		
	(本校2名出場) ★	第1位	青 森 連 合
	第73回東北高等学校選手権水泳競技大会【青森市】		
	男子200m平泳ぎ	第9位	3－5 前原 悠吾
	女子100mバタフライ	第7位	3－4 八木澤麻衣
	第65回青森県高等学校新人選手権水泳競技大会		
	男子50m自由形 ☆	第1位	2－1 佐藤 風梢
	男子100m平泳ぎ ☆	第2位	2－1 佐藤 風梢
	男子400mメドレーリレー ☆	第3位	青 森 高 校
	男子400mフリーリレー ☆	第3位	青 森 高 校
	男子総合 ☆	第3位	青 森 高 校
	女子100mバタフライ ☆	第2位	1－5 山道心優菜
	〃 ☆	第3位	1－4 成田 恵
	女子200mバタフライ ☆	第1位	1－5 山道心優菜
	〃 ☆	第2位	1－4 成田 恵
	女子総合 ☆	第3位	青 森 高 校
空 手 道 部	第78回青森県高等学校総合体育大会競技空手道競技		
	女子個人組手 ☆	第3位	2－1 葛面舞瑠々
	令和7年度青森県体育連盟空手道専門部秋季大会		
	男子個人組手＋76kg級	第3位	1－2 奈良 鮎武
	〃	第3位	1－6 沼田 尚大
	女子個人組手－59kg級	第1位	2－1 葛面舞瑠々
	女子団体組手(3人制)	第2位	青 森 高 校
	第39回東北高等学校空手道選手権大会		
	女子個人組手－59kg級	第3位	2－1 葛面舞瑠々
	令和7年度第67回青森県高等学校ソフトボール新人大会		
ソフトボール	女子 ☆	第2位	合同チーム(青森・青森・青森・木造)
フェンシング	第61回春季青森県高等学校フェンシング選手権大会		
	男子個人サーブル	第1位	2－6 三浦 楓陽
	男子個人フルーレ	第2位	2－6 三浦 楓陽
	第78回青森県高等学校総合体育大会フェンシング競技		
	男子個人サーブル ★☆	第1位	2－6 三浦 楓陽
	男子個人フルーレ ★☆	第1位	2－6 三浦 楓陽
	令和7年度東北高等学校選手権大会【山形市】		
	個人対抗男子サーブル	第2位	2－6 三浦 楓陽
	個人対抗男子フルーレ	第3位	2－6 三浦 楓陽
	令和7年度青森県スポーツ大会 兼 国民スポーツ大会県予選会		
	高校生男子	第1位	2－6 三浦 楓陽
	第60回春秋青森県高等学校フェンシング選手権大会		
	男子個人対抗サーブル	第1位	2－6 三浦 楓陽
	男子個人対抗フルーレ	第2位	2－6 三浦 楓陽

【文化部・委員会】 ★全国大会代表 ☆東北大会代表

部・委員会名	大 会・コンクール名／種 目	成 績	クラス・氏 名
自然科学部	第46回青森県高等学校総合文化祭自然科学部門		
	研究発表部門 ★	最優秀賞	青 森 高 校
	〃 ★	優秀賞	青 森 高 校
	〃 ★	優良賞	青 森 高 校
	ポスター発表部門 ★	最優秀賞	青 森 高 校
	第13回高校生科学研究コンテスト		
	研究発表部門 物理班	SDGs賞	青 森 高 校
	〃 生物班	光言賞	1－4 湯元 まお

【文化部・委員会】 ★全国大会代表 ☆東北大会代表

部・委員会名	大 会・コンクール名／種 目	成 績	クラス・氏 名
演 劇 部	第46回青森県高等学校総合文化祭演劇部門	優秀賞	青 森 高 校
音 楽 部	第62回全日本合唱コンクール青森県大会 高等学校の部 ☆ 金 賞	青 森 高 校	
	第92回NHK全国学校音楽コンクール青森県コンクール 高等学校の部 ☆ 銀 賞	青 森 高 校	
写 真 部	第46回青森県高等学校総合文化祭写真部門	優良賞 優良賞	3-1 柳本 圓佳 1-3 沼山 晴香
文 学 部	第46回青森県高等学校総合文化祭文芸部門 散文(小説の部) ☆★	最優秀賞 優秀賞	2-1 水谷 美祐 2-5 横濱 奏太
将 棋 部	第38回全国高等学校将棋竜王戦青森県予選大会 個人戦 ★	第1位 第3位	3-3 小坂 尚寛 1-1 岩谷 丈
	第68回青森県高等学校将棋選手権大会 男子団体戦 ★	第1位 第3位	青 森 高 校 A 青 森 高 校 B
	第46回青森県高等学校総合文化祭将棋部門 男子個人戦A組 ☆	第3位	2-3 福田 大海
	〃 ☆	第5位	1-1 岩谷 丈
	団体戦	第1位	青 森 高 校
ESS同好会	PDA北海道・東北・中四国公立高校即興型ディベート合同交流大会2025 ベストPOI賞	2-1 米塚 咲南 2-2 山内 悉瑞	
	第11回PDA高校即興型英語ディベート全国大会2025 ベストPOI賞	2-3 森 心優	
クイズ研究同好会	AQL2025東北リーグ	第3位	青 森 高 校
吹奏楽委員会	第67回青森県吹奏楽コンクール中央地区大会 高等学校の部	金 賞	青 森 高 校
	第67回青森県吹奏楽コンクール 高等学校の部	銀 賞	青 森 高 校
	青森県アンサンブルコンテスト第50回青森地区大会 サクソフォン四重奏	金賞	青 森 高 校
	クラリネット四重奏	金賞	青 森 高 校
	打楽器四重奏	金賞	青 森 高 校
	フルート三重奏	金賞	青 森 高 校
	第50回青森県アンサンブルコンテスト クラリネット四重奏	金賞	青 森 高 校
	打楽器四重奏	金賞	青 森 高 校
	フルート三重奏	金賞	青 森 高 校

部・委員会名	大 会・コンクール名／種 目	成 績	クラス・氏 名
放送委員会	令和7年度青森県高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 ★	第3位	青 森 高 校
	創作テレビドラマ部門	第3位	青 森 高 校
	アナウンス部門	入 選	2-2 山口 萌花
	朗読部門	入 選	2-2 山本 梨愛
	〃	入 選	1-3 千葉 咲楽
	第49回全国高等学校総合文化祭放送部門【香川県】 ビデオメッセージ部門 文部科学大臣賞		青 森 高 校
	第46回青森県高等学校総合文化祭放送部門 アナウンス部門 ☆	優良賞	2-2 山口 萌花
	朗読部門 ☆	優良賞	2-2 山本 梨愛
	ラジオ番組部門 ☆	優良賞	青 森 高 校
	テレビ番組部門 ☆	優秀賞	青 森 高 校
	第29回東北高校放送コンテスト ラジオキャンペーン部門	優秀賞	青 森 高 校
	テレビキャンペーン部門	最優秀賞	青 森 高 校
小倉百人一首かるた	第27回青森県高校かるた選手権大会 団体戦(本校2名出場)	第3位	青森・八工大二合同チーム
	個人戦 ★☆	第7位	2-1 杉山 結南
	第2回青森県競技かるた初心者大会 個人戦	第3位	2-1 植村 美優
	〃	第3位	2-5 村山 翠海
	〃	敢闘賞	2-1 千田 百恵
	第46回青森県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門 B級	第1位	2-2 佐藤 優名
	第32回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会 団体戦	第4位	合同チーム(五高・木造)
	第15回つがる市かるた選手権大会 D級	優 勝	2-2 石村 晟煌
理 科	第18回国際地学オリンピック【中国・済寧市】 (日本代表)	銀メダル	3-5 石田 結寛
国 語 科	第46回青森県高等学校総合文化祭文芸部門 読書体験記の部	優良賞 優良賞	1-1 内藤 碧 1-5 五戸 悠乃
	〃	入 選	1-4 対馬 健太
	〃	入 選	1-2 齋藤 ことか
	第71回青森県高等学校読書感想文コンクール 自由図書	優良賞	1-4 正部家遥斗
	〃	優良賞	2-2 田名部里玖
	〃	入 選	1-1 李澤 歩
	〃	入 選	2-2 佐藤優里香
	〃	佳作	1-3 千葉 光晟
	課題図書	入 選	1-2 白崎 礼菜

令和7年度各賞受賞者

■ハンドボール部

青森県高等学校体育連盟 部長賞 3-6 宇都宮 壮
青森県高等学校体育連盟 部長賞 3-1 久末 進
青森県高等学校体育連盟 部長賞 3-1 木村 和奏
青森県高等学校体育連盟 部長賞 3-2 滝本紗弥子

■水 泳 部

青森県スポーツ協会 優秀選手賞(水球) 2-1 豊嶋 優斗
青森県スポーツ協会 優秀選手賞(水球) 1-3 矢野淳之助
青森県高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-4 八木澤麻衣

■フェンシング

青森県高等学校体育連盟 優秀選手賞 2-6 三浦 楓陽

■漕 艇 部

全国高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-1 林 怜生
全国高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-2 佐藤 寿樹
全国高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-4 荘司 哲平
青森県高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-1 中坪 力翔
青森県高等学校体育連盟 優秀選手賞 3-4 山内 玲穂
青森県ローイング協会 会 長 賞 3-3 成田 咲季

■自然科学部

青森県高等学校文化連盟 連盟賞 青 森 高 校

■演 劇 部

青森県高等学校文化連盟 連盟賞 1-4 新井 幸恵

■書 道 部

青森県高等学校文化連盟 連盟賞 3-2 平沢 琴葉

■吹奏楽委員会

青森県高等学校文化部活動奨励賞 青 森 高 校

■放送委員会

青森県高等学校文化連盟 特別賞 青 森 高 校

地 区 同 窓 会 ご 案 内

●東京青高同窓会

【会 長】永田 雅之
【副 会 長】久保秋 真、瀬川 昇、五日市文雄、秋元 耕一、岩見 勲
【事 務 局】久保秋 真
〒192-0084 東京都八王子市三崎町4-11 トーネンビル7階
(株)スーパーオフィス方 ☎ 070-2832-4491

●弘前青高会

【会 長】小野 知正 【副 会 長】佐藤 義光
【事 務 局】三浦 敬
〒036-8666 弘前市清野袋5-5-1 弘前航空電子(株)内
☎ 0172-68-5652

●青高むつ下北同窓会

【会 長】長岡 俊成
【副 会 長】伊藤 道郎、中村 正志、工藤 和彦
【事 務 局】櫻田 誠
〒035-0033 むつ市横迎町2-19-10 ☎ 090-4889-4658

●八戸青高同窓会

【会 長】阿保 民博
【副 会 長】長澤 良雄、福井 武久、山口 吉彦
【事 務 局】田口 明子
〒031-0039 八戸市鳥屋部町1 ☎ 090-7075-0574

●青森高校西日本同窓会

【会長代行】空野 昭枝
〒560-0056 大阪府豊中市宮山町4-19-36 ☎ 06-6841-0931

●仙台青中青高女青高会

【事 務 局】竹内 廣
〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋3-4-33 ☎ 022-267-5757

●平内青高同窓会

【事 務 局】竹内 正美
〒039-3321 東津軽郡平内町小湊字小湊19 ☎ 017-755-3973



【ポスター作者・記念グッズデザイン】 成 田 希 (52回生)

2001年夏、「野球部決勝進出」の報に校内が湧き上がった。決勝の日、夏の講習は落ち着いて受けられるはずもない。級友たちは勉強もうわの空で、そわそわと過ごしていた。「今日の授業はここまでにして応援に向かいましょう」という先生の取り計らいで、誰もが一斉に荷物をまとめた…。

みんなが球場へと向かったあとの教室の静けさは、先刻までの熱気とのコントラストが深い。日差しはあるけれど、青森の風は今よりずっと穏やかだったと思う。

そういえば、ちょうどあの頃、体育教官室の窓の下で猫が仔猫を生んだ。日ごとに一匹ずつ減っていくことを憂いていると、先生が「もらってくれる人が見つかったから」…と。たくましく命を繋いでほしいと願った。教室をゆっくりと歩く猫は仔猫たちの子孫かもしれない。私たちの記憶をあの夏の教室へと誘う使者である。

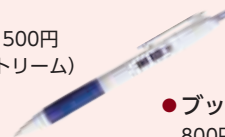
記念グッズ

●津軽びいどろ盃

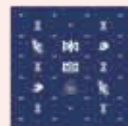
校章サンドブラスト加工
赤、青、水色(学年カラー)各30個
1個3,000円
2個セット5,000円
3個セット7,000円



●ボールペン 500円 (ジェットストリーム)



●ブックスメモ付箋 800円



●扇子 2,500円



●メモ帳 (リング製本) 800円

●Tシャツ 2,500円



ベージュ

スミクロ

実行委員長 中 島 翔 平 高校数学教員 (音楽部、テノール担当)

あれは1年前の1月に行われた飲み会からすべてが始まりました。誘ってくれたのは同業の2名。そこにさらにいたのは、田端代表幹事。「高校の同期」として集まって飲むのは実はこれが初めて。

元来お調子者の私は、田端代表幹事とも(もしかすると一方的に?)意気投合。翌月にはなんと、この実行委員長の打診を受けることになりました。人生、何が起るかわからないものです。

高校時代は、部活動や遊びに明け暮れ、母校に貢献したり学業に打ち込んだりとは正直なところ程遠い日々でした。そんな私が高校教員として働くようになり、早いもので20年近く。今になってようやく、青高の3年間がいかに尊く、かけがえのない時間だったのかを思い知らされています。

本日は、そんな私の思いを一人でも多くの青高卒業生の皆さまと共有できたいと思っています。

アトラクションでは、現在のダンス同好会や音楽部の活動映像をご用意しました。編集を担当してくれたのは現役の放送委員会です。世代は違っても、「ああ、こういう時間あったよな」と、同じ青春を感じていただけるかもしれません。

準備に携わってくれた52回生の仲間たち。高校時代からの友人もいれば、大人になって初めてしっかり話した仲間もたくさんいます。そんな仲間と再会し、同じ目標に向かって動いたこの日々は、本当に——エモい毎日でした。

本日は、できるだけ多くの皆さまに楽しんでいただければ幸いです。どうぞ最後まで、ごゆっくりお過ごしください。



私たちの高校時代(1999-2002)

1999年4月 入学

- 携帯電話・インターネットが急速に普及。とはいえ「ポケベル」もまだ現役で、「ガラケー」という言葉もまだなかった時代
- モーニング娘。[LOVEマシーン]が大ヒット。「日本の未来は Wow Wow Wow Wow」

2000年

- シドニーオリンピック開催(高橋尚子選手が女子マラソンで金メダル。「すごく楽しい42キロでした」の名言が話題に)

- 青森市浜田にイトーヨーカドー青森店が開業
- 青森高校創立100周年

2001年

- 東京ディズニーシー開園
- 7月26日、夏の甲子園青森県大会で青森高校が41年ぶりに決勝進出
- アメリカ同時多発テロ(9.11)
- 青森駅前に「アウガ」が開業

2002年3月 卒業

52回生同窓会実行委員会

※すべて卒業時の姓で表記。

代表幹事

田端 浩弥

実行委員長

中島 翔平

企画委員会

一戸 学

木村 琴衣

佐藤こずえ

菊池 歩

広報委員会

相馬 勇介

佐々木杏奈

森 康博

成田 希

奥寺 公也

室谷 碧

石田 壮平

古川英沙子

財務委員会

鳴海 公史

東京事務局

成田 耕祐

野呂 夏子

山田 響子

武田 直之

佐藤 朝彦

木村衣生里

編集後記

昨シーズンの青森市の災害級の豪雪。現役生徒の活動はもとより本会の各種会議もいくつか中止・延期を余儀なくされました。しかし、「耐雪梅花蓮」なのでしょうか、この春の母校の桜や藤棚は見事でした。同期会などの機会に母校をお訪ねになってみてはいかがでしょうか。(木)